



子育て通信

令和7年 7月

第339号

なんくる



みどり子育て支援センター「なんくる家」那覇市首里石嶺町4-216-3 (みどり保育園)

電話: 098-886-6044

ホームページ <http://midori-okinawa.com/>e-mail nankuruya310@gmail.com

朝セミの鳴き声聴こえず 昼雨降らず 夜静かにホテル飛ぶ

いつもの年なら早朝からセミの声に起こされるものですが、今年は鳴くセミの数が減法少ないような気がします。なぜかな？気になります。

考えてみれば、雨の降らない梅雨でした。ジメジメ感覚も味わわないまま慰霊の日を迎えました。昨日が慰霊の日でした。平和記念公園の刻印の前で家族の名を呼び、泣きくずれる老女の姿が目には焼きついて離れません。

慰霊の日にはテレビでは戦後80年と報道しています。でも、人々の心の傷も残ったまま、戦争の爪痕は、まだまだ生血を流し癒えていません。「泣かすな」の声に我が子を胸に押し当てて、窒息したままの我が子を抱いていた母親の気持ち・・・。

戦争よりも子殺しの罪を背負って生きた母の戦争はいつまでも終わりはしないはず。でも、それが戦争なのです。それが人の心を壊してしまうイクサなのです。

このお便りは7月号。心地よい風鈴の音や七夕の笹の葉の涼やかな風を書きたいと思いつつも、筆は「慰霊」「戦後80年」「20万人の戦没者」の強烈な文字の前には夏の風物詩は書けないのです。(気持ちが高ぶってしまっています)

保育園の年長さんと6月に平和記念公園に行ってきました。戦没者の方々の名前が蒼くて深い穏やかな海を背に規則正しく刻印されていました。

子どもたちは、無邪気に、でも真剣に両手をあわせて祈ります。私たち大人も二度と戦争を起こさない世の中を願い手を合わせました。

首相も、沖縄県知事も、慰霊の日には同じ場にいらっしゃいました。戦没者の御霊に誓いました。平和を願いました。戦争はいけないことだと県民に誓いました。

首相様、あの場では心が疼いたことでしょう。沖縄の痛みを胸に深くきざみ、東京に戻られても決して忘れないよう心よりお願いいたします。

デニー知事の平和の誓いを聴いておられましたよね。真剣に耳を傾けられたと信じています。同じ言葉を沖縄県民100万人が聴きました。首相様、政治家しかできないことがおありでしょう。私は、首相様を信じようと思います。

今月のお便りは、強烈な言葉ばかりが並んでしまいました。慰霊の日の翌日にお便りを書いたらこんな風になりました。「木の上の軍隊」もいい映画でした。恒久平和を願いながら、今月号をめます。皆で戦争のない世界を願いたいです。

なんくる家では安らかな居場所を準備して皆さんを待っています。施設長石川キヨ子

※フルタイムの保育士さん、短時間パートさんを募集しています！お問い合わせはこちら→TEL 886-6016

- ・ プレママさんも利用できます。妊娠や子育てへの不安もお気軽にご相談ください。
- ・ 保育園の見学も出来ます。その場合は事前に連絡をお願いします。

みどり保育園では、地域子育て支援の一環として、子どもの発育相談などいつでも相談にのります。親の子育ての悩みはもちろん、子どもの特性など一緒に考えて必要なところへ繋がります。

🚗 お車で越しの際は、みどり保育園の契約駐車場「ドミールK（アパート）」をご利用下さい。
園舎前の駐車場に駐車はご遠慮ください。